

伊勢河崎・町並みと川を 生かしたまちづくり ～伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～



三重県 伊勢市

特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆

① 社会資本の概要

「伊勢河崎商人館」は江戸時代、お伊勢さんへの参拝客でにぎわう伊勢の台所といわれた勢田川沿いの問屋街河崎において、300年以上続いていた酒問屋を保存・活用するために修復した施設で活動の拠点となっています。また、河崎に住む人々と訪れた人々の交流拠点としての役割を果たす場としても開放しており、住民とともに河崎のにぎわいを創出

しています。

勢田川は伊勢市の中央部を流れる全長7キロ余りの一級河川であり、江戸時代から伊勢神宮への参宮客へ物資を供給する水運の要となっていました。その勢田川から見える景観保全等のため、明治の蔵を修復して「河崎・川の駅」を整備し、そこを発着場とした木造船「みづき」が運行されています。



伊勢河崎商人館



勢田川と河崎の景観



河崎・川の駅

② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

勢田川の河川改修工事で川沿いの景観が大きく変貌していくなか、町中に多くの歴史的建造物が残っていたことに気づき、水運で栄えた景観の風情とともに町全体の景観保全に取り組むことになりました。この保全活動を契機に地域の歴史文化を見直し、地域文化財として歴史的な町並みや町家・土蔵は貴重な地域資源であり、まちづくりに生かそうという機運が醸成されていきました。

活動は伊勢河崎商人館を拠点とし、町並み保全、空家・空蔵の保存活用、だいどこ市・河崎商人市の開催によるにぎわい創出、勢田川を生かしたまちづくりを展開しています。

河崎の古民家や蔵に残っている古文書の整理・展示を学生芸員と連携して実施し、そこから新たな話題を提供するなど、新たな価値と魅力を生む独创性のある活動を進めています。



空家のリノベーション



だいどこ市



古文書の整理

③ 活動の成果や波及効果等

商いの場として伊勢河崎商人館の3棟の蔵を「商人蔵」という店舗として整備し、その蔵の中に20ブースが出店しており、その中には、カフェも開業するなど、歴史的な建造物を活用した取り組みにより、多くの観光客が訪れ、にぎわいが創出されています。また、「だいどこ市」は平成14年から183回開催、「河崎商人市」は平成13年から18回（年1回）開催しており、毎年数千人の来場があります。



商人蔵



河崎商人市

④ 前回受賞時からの活動の発展内容

伊勢河崎商人館の茶道の流派である裏千家ゆかりの茶室を生かし、茶会の開催誘致を行い、百人規模の茶会を開催しています。また、地元醸造所の協力を得て、商人館ゆかりの100年以上前のサイダー「エスサイダー」の容器、ラベル、味を再現した復刻を行い、商品化・販売して好評を得ています。また、ホームページを大きくリニューアルし情報発信の強化も行っています。

●●● 喜びの声 ●●●



受賞者

特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆
理事長 高橋 徹

コメント

勢田川沿いの景観保存運動から始まった河崎のまちづくりは伊勢河崎商人館の整備を契機に活動を深め、平成22年に一般部門を受賞。その後も商人館の運営を核として歴史資源を生かした様々なまちづくり事業を展開してきました。大賞を受賞できたのは継続の賜であり、今後も歴史文化の息づくまち河崎をデザインし、次世代に繋いでいく活動に努めます。

活動の内容

- ・河崎地区の町並み保全活動
- ・河崎地区の歴史的町家・土蔵の保存活用事業
- ・商いのまちを継承したまちづくり活動
- ・伊勢河崎商人館の運営を核としたコミュニティの醸成
- ・河崎の歴史文化を育む勢田川を活かしたまちづくり

活動の経緯

平成11年 NPO法人として設立
平成14年 伊勢河崎商人館開館
平成22年 手づくり郷土賞（一般部門）受賞
平成27年 HP・パンフレット・山田羽書展示等リニューアル

所在地

三重県 伊勢市

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆
(0596-22-4810)
<http://www.isekawasaki.jp/machisyu/>

対象となる社会資本

伊勢河崎商人館、一級河川 勢田川、河崎・川の駅
※管理者：特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆、国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所、伊勢市

